

聞いてみたいな  
こんなこと



# 一般質問

## 一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問であなたの生活にかかわる内容はありますか？

質問議員 19人 質問 35項目

一般質問の全ての内容を動画で視聴できます。市ホームページの「市議会」から本会議録画中継を検索してご覧ください。公開は次の6月定例会議までです。

## 都市計画 武蔵引田駅北口土地区画 整理事業について



たばたあずみ

**Q** 区画整理について疑問や不安、反対や提案など声を上げている地権者が不利益を被ることはないか。

**A** 換地設計をする上で、特定の人や特定の事柄に対して有利に働くことは一切ありません。

**Q** 段階的とは言え、宅地並みになる農地の税負担に補助を検討できないか。

**A** これ以上の税法上の猶予措置は困難だが、全国の区画整理事業を研究し、対応できるものがあればお知らせしたい。

**Q** 商業ゾーン以外に「沿道ゾーン」に戸惑いや不安の声が出ているが、住民の希望で設けたものか。

**A** あきる野市都市計画マスタープランの中で、産業系のある地域とする「沿道ゾーン」に戸惑いや不安の声が出ているが、住民の希望で設けたものか。

複合市街地という形で掲げている。住民の意向、意見をすべて受け入れたかという点も異論もあると思うが、理解は進んでいると考える。

**Q** 農地の活用を早く進め、住宅地は丁寧に考えるために、計画を切り離すことを考えられないか。

**A** 区画整理事業の手法そのものは切り離せないが、農業者と居住者とは対話を重ねていきたい。

他に高等教育の奨学金について、マイナンバー制度について質問した。



## 防災

### 防災と減災対策について



堀江 武史

**Q** 東日本大震災から6年が経つ。その後も全国各地で様々な自然災害が起き、甚大な被害をもたらしている。事前に対策を行うことで、被害を抑えることは可能である。市民の生命と財産を守るため伺う。

**AQ** 震災後の取り組み状況は、平成25年度に地域防災計画を修正し、26年度には事業継続計画を策定。また備蓄食料や資器材の拡充、災害時の応援協定の締結などに取り組んでいる。29年度には炊き出し用器材やソーラー外灯の整備、河川監視カメラの設置等を行う。

**Q** 住宅用火災警報器の設置状況及び点検の呼びかけは。秋川消防署が27年度に行った防火診断によると、設置率は91%。点検の必要性については、消防署と連携して防災訓練時など様々な機会を通じて啓発したい。

**Q** 消防団員数の確保に向けた取り組みは。機能別消防団員制度や消防団協業事業所表示制度を導入。団独自の広報誌も発行している。29年度からは消防団サポート事業を導入する。

## 都市計画

### 住民の理解と合意に基づく土地区画整理事業のあり方について



辻 よし子

**Q** 昨年末に始まった意向調査では、産業、商業、住宅等の5ゾーンが示され、地権者は所有地をどのゾーンに換地するか決めなければならぬ。しかし、ゾーンを決める上で十分な議論がされておらず、地権者の理解と合意を得る過程に問題があったのではないか。

**A** まちづくり協議会や説明会の議事録では議論を重ねたことが読み取れないとしても、引田駅地区を住みよくする会や農業者を中心とした組織でたくさん議論が行われたと聞いている。

**Q** 意向調査票には、農地が産業ゾーンになってしまふことへの無念さ、住民の納得が得られていないことへの不満など地権者の切々たる思いが書かれている。これまでの進め方に問題がないと市が言うのなら、「市民と協働のまちづくり」という看板は外すべきではないか。そういう意見があった方々とはきちんと対話をして、これからも事業を進めていく。

**A** 他に汚水整備計画の策定について質問した。



区画整理後の「駅前街区イメージ」

障がい者に対する施策  
について

天野 正昭

オリンピック、パラリンピックの開催を控え、障がい者に対する世界基準を満たす施策が必要と考える。

**Q** 本市における障がいを持っている方の人数及び増減は。また、引きこもりの実態は。

**A** 平成28年度の人数と4年前との比較は、身体障がい者2374人で2%増。知的障がい者668人で11.7%増。精神障がい者558人で36.8%増。引きこもりについては、平成28年に1件の相談があり、都のひきこもりサポートネットにつながっている。

**Q** 平成29年度に改訂する「あきる野市障がい者福祉計画」の特徴は。

**A** さらなる障がい者理解の促進、障がい者やその家族が安心して生活するため、緊急的な対応策の検討、就労移行支援事業の重点的な支援策の検討となっている。

**Q** 障がいを持った方が農業を行うということは心身に有効ではないか。

**A** 国や都は、障がい者の農業分野への就労を奨励している。都立あきる野学園でも、農業体験は本人の可能性を確認できる作業との認識があると聞いている。

他に観光施策、文化遺産について質問した。

安全・安心のまちづくり  
について

松原 敏雄

東日本大震災や昨年の熊本地震の教訓として、支援受け入れ体制の不備により、物的支援や他自治体からの派遣職員等の人的支援を生かし切れず、混乱を招いたことが指摘された。大規模災害の際、被災自治体の支援の受け入れ、「受援体制」の構築が課題となっている。

**Q** 平成26年度策定の「あきる野市事業継続計画」を補完する意味で何う。

**A** 災害時応援協定締結の進捗状況は。

**Q** 多摩地域30市町村及び宮城県栗原市と、食料や生活物資、資機材の提供、職員の派遣などの相互応援の他、関係機関や民間事業者と応急対策業務や医療品、仮設トイレの供給、被災者等の輸送協力など40件の協定を締結した。

**Q** 他自治体との応援協定について、どのように考えているか。

**A** 災害の規模、被災状況によっては、近隣県の市町村との単独の応援協定では賄えない。広域的な市長会、全国市長会の取り組みが今後進められていくと考えている。

**Q** 「受援計画」策定について、市の見解は。

**A** 国の策定を進めているガイドラインを踏まえた、東京都の受援計画等との整合性を図りながら、29年度を目標に策定に取り組む。



## 乳幼児健診の充実について



田中 千代子

子どもたちが育つ過程で、乳幼児期に実施される健康診査は大変重要であると考え、さらなる充実を求めたい。

**Q** 聴力検査は、3歳児健診の前に新生児聴覚検査を導入している病院が増えている。市として推進の考えは。

**A** 市では、新生児訪問指導や乳児健診の際に、母親への聞き取りと母子健康手帳で、新生児聴覚検査の受診状況や検査結果を確認している。未受診の場合もあり、今後、近隣の医療機関の検査状況を把握し、未実施の医療機関へ西多摩8市町村共同で



要望することを検討したい。

**Q** 視力検査は、保育園や幼稚園で実施されている自治体もある。3歳児健診時に家庭で実施している検査が園でできれば、より客観的なチェックができると思う。市の見解は。

**A** 3歳児健診では、保健師の問診で事前の視覚検査の結果などを保護者から聞き取り、医師の診察の中で診断をしている。保育園・幼稚園での視覚検査については、3歳児健診の視覚検査を補完する役割として、今後研究をしていきたい。

あきる野市の農業、  
商工業の振興策について

市倉 理男

市は、市民からの多種多様な要望を始め市民サービスの向上に努めているが、財源の裏付けが必要である。

**Q** 本市の農業と商工業のタイプアップを可能にする業務提携協定を結び、農家の生産量アップと商工業者による販路拡大を目指している。よう、仲介する意向は。

**A** あきる野市農業振興計画においても、商工業者との連携による新たな加工品や料理の開発、農産物のブランド化などを通して、市民に広め、生産量を拡大すると共に、市民に愛され、親しまれる農業を目指すこととしている。今後、あきる野商工会と秋川農業協同組合との連携について協議を進めていきたい。



**Q** プレミアム商品券の先行販売は、高齢者だけでなく、子育て中の家庭も対象にしてはどうか。

**A** 先行販売の対象を子育て世代にも広げていきたいが、商工会及び檜原村とも協議し、検討する必要がある。

**Q** 住宅リフォームの希望者への助成は、即効性と経済効果が大きいことから、予算の増額を検討できないか。

**A** 事業を進めていく中で、利用状況や財源確保等を勘案しながら、商工会及び檜原村と協議していきたい。

都市計画  
秋川市時代からの41年間の  
開発事業について



戸沢 弘征

**Q** 秋留台西地区開発整備事業、インダストリアルパーク構想の破たんについて、どう評価し、総括しているのか。

**A** 圏央道の広域インフラと併せた土地利用は、地域の発展に大きく貢献することから、当時の開発計画は妥当であった。今後も、時代背景に応じた土地利用は重要と考える。



**Q** 土地開発公社の借金利息が増え、簿価が上がるため、公社に利息分の補助金を毎年1億円を超えて拠出してきた。解散にあたり9億5千万円の求償権を放棄した。

**Q** 秋川市時代から各駅の南口の区画整理は失敗した。武蔵引田駅北口も長期にわたる市民の税を投入することになる。見直すべきでは。本事業は、市税等の自主財源、国や都の補助金、保留地処分金等を財源に推進していく。すでに地権者の意向を受け、換地設計にも着手している。

道路  
通学路の安全対策について



山根 トミ江

**Q** 永田橋から氷沢橋までの歩道の拡幅工事の進捗状況と今後の見通しは。

**A** 現在は、鎌倉街道東側から永田橋信号手前までの道路南側拡幅のため、鋼管擁壁工事の機械組み立て作業を行っている。全国的にも数少ない特殊な大型重機作業であり、慎重に工事を進めている。全線完成までには相当な期間が必要である。



**Q** 砂利砕石場がある北側の歩道の部分の用地買収についての見通しはどうか。

**A** 相手があることなので、いつでもか答えるのは難しい。子どもの安全を最優先にし、今後もちちんと話をしていく。

**Q** 南小宮橋周辺の歩道にガードレールを設置できないか。歩道幅員が狭くなることと、歩道下に水道管やガス管が埋設されていることから設置は難しい。

**Q** 草花公園側へ歩道を広げるなどして対応できないか。技術的には可能だが事業費がかなりかかる。まずは今回措置した減速表示等の効果を検証したい。

他に国民健康保険税の軽減、公共交通の充実について質問した。

教育  
理科離れ解消について



村野 栄一

**Q** 子どもの興味・関心・学力の低下や次世代の研究者・技術者が育たないことなどの問題を解消するために、科学の街「つくばの研究施設を巡る」など、子どもたちの興味を湧く見学の機会を提供することへの本市の考えは。

**A** 子どもたちの興味を湧く見学機会の提供については、様々な年齢層における学習機会の充実という、公民館が果たすべき役割の一つとして積極的に推進する必要があると考える。理科離れが指摘されている現在の子どもたちの状況に照らし、こうした分野に対する興味を幼いうちに喚起することについては、大変意義があることと考え、関連する事業の早期実施に向けて検討していく。

他に地域の人材について質問した。

健康  
胃がん対策について



増崎 俊宏

平成29年度施政方針で、「胃がんの発症リスクを軽減するため、新たに若年層に対するピロリ菌検査を実施すること」発表された。24年に初めて取り上げてから再三にわたり要望してきた経緯もあり、感慨深いものがある。今後の実施スケジュールや検査内容は。

**Q** 20代、30代の若年層を対象とした理由は。

**A** 胃がんの発症は、ピロリ菌が大きく影響しており、若い世代ほど除菌効果が高い。がん検診受診の機会がない世代に対して、検診の機会を提供したい。

**Q** ABC検診ではなく、ピロリ菌検査のみとした理由は。まずは胃がん検診を対象者全ての方に勧奨していく観点から、現時点では、ABC検診の実施は見送った。

他にがん教育について質問した。



※ABC 検診  
ピロリ菌感染の有無と胃粘膜萎縮度から胃がんリスクをA、B、C、Dの4つに分類し評価する検診



産業

## 五日市商店街の空き店舗対策について



中嶋 博幸

**Q** 伝統文化を大事にする人材育成、祭礼も元氣、商店街も元氣、が直感的な五日市活性化だと思っ。それにはまず、商店街の空き店舗を減らすことが重要である。具体的かつ計画的な施策が必要であるため提言する。地域内外からアイディア豊富な人材を集め、1年かけて商店街ビジョンを策定する。市は綿密な空き店舗実態調査を行う。そのビジョンと調査報告書をもとに、見合った事業者を誘致するための専門人員を商店街に配置し、数年かけて着実に空き店舗を減らしていく。



**A** 私が思うモデル取り組みは徳島県神山町である。市長の見解を伺う。熱い気持ちで本当に伝わってきた。五日市活性化戦略委員会をはじめ、いろいろな角度で検討し、総意としたビジョンを発信していたければ、行政もきちんと対応していきたい。どこの地域でも、商店街の問題は本当に難しい課題だが、皆さんのまちを興そうという熱い気持ちをきちんと受けとめていきたい。

農業

## 農業振興について



栗原 剛

**Q** 東京都の農業振興プラン策定がいつ頃になるか確認はとれているか。また、本市農業振興計画への影響は。

**A** 都は平成29年5月中の策定に向けて作業を進めているとのこと、都の策定を待ち、29年度中には策定を進めていく。

**Q** 営農指導を専門とする職員の配置はできないか。

**A** 市が専門職員を配置するより、都の普及員や農協職員が適任であり、連携を強化していく。

**Q** グローバルGAP認証の取得について、市の考えは。

**A** グローバルGAPは、農産物生産の安全についての国際規格であり、認証取得については、重要施策の一つであると考えている。



※グローバルGAP 農業生産工程管理の国際基準

子育て

## マタニティタクシーの活用について



子籠 敏人

**Q** 市の母親学級（両親学級）に参加し、ママやパパと情報交換の中で、マタニティタクシーの必要性を感じた。マタニティタクシーの活用について、市はどのように考えているか。

**A** 妊婦面接の機会などを活用し、マタニティタクシーのニーズを把握するとともに、他の自治体の取り組みも研究したい。

**Q** 子育てガイドブックやホームページ、アプリなどに掲載して周知を図ってはどうか。

**A** 子育てガイドブックへ掲載し、あわせてホームページやアプリにも掲載するよう検討する。

**Q** こども商品券が利用できるタクシー事業者が市内でも増えるよう、市から働きかけられないか。

**A** こども商品券が昨年末からタクシーにも利用できるようになったので、マタニティタクシーを行っているある野市周辺のタクシー会社に、商品券の取扱店舗になつてもらえるよう働きかけを行った。他のタクシー会社への働きかけについては、今後把握するニーズ等を踏まえて検討したい。

他にイクボス、職場体験について質問した。



Q&A

市の

市の

※マタニティタクシー  
出産予定の病院や予定日などを事前に登録しておけば、健診や陣痛の時に優先して配車してくれるタクシーサービス

政策

## 市政全般について



合川 哲夫

平成29年度の施政方針が出され、市長の方向性が見えた。

Q

大枠で6項目の施策をあげているが、最重要課題は、人口減少問題が大きな課題と認識している。若い世代が安心して子育てし、働けるまちづくりを推進する。

Q

その財源として、秋川高校跡地を「(仮称)総合福祉センター」として利用してはどうか。

A

所有者である東京都の意向もあるが、基本的に産業系土地利用ということで進めていく。

Q

膨大な借金の削減はどう対応するのか。

A

計画的な償還等により着実に減少している。売却収入による繰上償還の実施などを行い、債務の縮減を図っていく。

Q

求償権放棄を伴い、土地開発公社から引き取った土地の現状は。

A

16か所ある中で、都市計画道路予定地を除く13か所が売却対象となっており、3か所を売却した。残りも売却条件が整い次第、処分していく。

他に五日市ファイナンザ、増戸地区生活環境改善について質問した。



政策

## 施政方針について



清水 晃

Q

市の将来債務として、一般特別会計、一部事務組合を含む市民一人当たりの金額と現在の起債総額は。

A

市民一人当たりの市の債務残高は約68万円。借入金の起債の総額は、約483億8千万円である。

Q

汚水処理の整備状況と今後の方針は。

A

整備普及率は94%。今後、公共下水道事業の認可区域は年間2ha程度を目標に、整備を進めたい。認可区域外は、現在、汚水処理計画の策定に向けて平成29年度中の公表を目標に作業している。

Q

学校管理下における児童生徒の安全と補償は。

A

登下校時の交通安全や防犯対策、学校内の安全点検、指導など様々な取り組みをしている。補償については日本スポーツ振興センターの災害給付制度で、後遺障害等については災害給付制度等で補償を行う。



財政

## 財務書類の作成について



奥秋 利郎

武蔵引田駅北口の区画整理事業は反対ではないが、財政的には無理があると思っ

て不安を覚えている市民は私だけではない。発生主義

による、正確な行政コスト

の把握を出资者たる市民や

職員が適切かどうか判断で

きるようになるため、昨年

12月定例会議において、新

公会計制度に基づく発生主

義、複式簿記による財務処

理の作成に取り組むことを

お願いした。これらの書類

ができあがれば、今までの

土地政策の間違いが市民に

理解されることになると思

える。

Q

いつ頃からどのような方法で取り組むのか。

A

総務省が示した統一的な基準、新公会計制度の導入に向けた取り組みとして、固定資産台帳の整備や作成に必要な標準ソフトウェアを導入するなどの環境整備を行っており、平成28年度決算に係る財務書類から、作成、公表を行う。また、29年度は、新公会計制度の導入に併せて、発生主義会計の意義や財務書類の活用について、職員向けの研修等を実施する。

他にまちづくりと土地政策について質問した。



市のQ&A

市の

## あきる野市議会活動レポート

### 福祉文教委員会 市内視察



福祉文教委員会では、1月12日に増戸中学校において英語実践授業を視察し、その後五日市学校給食センターで学校給食の現状について説明を受けました。

### 多摩川南岸道路現地視察



あきる野市と檜原村の議会で組織する秋川南岸道路建設促進協議会では、2月14日に東京都が整備を進める奥多摩町の多摩川南岸道路の完成区間を視察しました。

### 東京都市議会議員研修会



2月10日に東京都議会議員研修会が府中の森芸術劇場どりーむホールで開催され、議員が参加しました。跡見学園女子大学教授 鍵屋 一氏を講師に招き、「地域防災の課題と災害時の議会・議員の役割」というテーマで講演が行われました。

### 秋川流域市町村議会意見発表会



あきる野市、日の出町、檜原村で構成される秋川流域市町村正副議長会主催の議員による意見発表会が2月10日に行われました。本市議会からは、辻よし子議員、中嶋博幸議員、栗原剛議員が意見を発表しました。

### No. 1

市議会ホームページの内容を充実しました。

市議会に関する情報や議会活動をできるだけ多く、わかりやすくお伝えするため、市議会ホームページの掲載内容の充実を図りました。今後も、ホームページを通じて、議会情報を積極的に発信していきます。皆さんのアクセスをお待ちしています。



新たに追加した掲載内容	
議案本文	全ての議案の本文を掲載しています。
議案等賛否一覧表	全議員の議案等に対する賛成・反対を公表しています。
政務活動費の実績報告	収支報告書や領収書を公表しています。
議長交際費	交際費の支出状況を公表しています。
常任委員会行政視察報告	常任委員会の行政視察報告書を掲載しています。
行政視察受け入れ状況	これまで視察に訪れた議会の一覧を掲載しています。
請願・陳情本文	請願及び陳情の内容を掲載しています。
意見書・決議	可決した意見書及び決議の内容を掲載しています。

### No. 2

第一回臨時会議を開催しました。

あきる野市議会は通年議会となっているため、3月31日に第一回臨時会議を開催し、4月1日から施行される地方税法等の改正に伴い、同日から施行となる税賦課徴収条例と国民健康保険税条例の一部改正について審議しました。いずれも3月31日、所管の総務委員会に付託し審査を行い、その後本会議において可決しました。



### 訂正とお詫び

議会だより86号のP7の堀江武史議員の一般質問の2つめの回答に、「138票」とありますが、正しくは「133票」でした。訂正してお詫びいたします。